

## 「2023年度韓国・延世大学スプリングスクール派遣報告書」

京都大学工学研究科修士課程2年 寺崎 真由

## ○学習成果・海外での経験

## ・語学堂の授業

3週間の短い期間は言語力を成長させるには時間が足りないのではないかと留学前には思っていたが、実際行ってみると、これほど韓国語のみでコミュニケーションをとる3週間を過ごす機会はなかなかなく、貴重な機会だった。この3週間を通して、文法が誤っていようと「自信を持って伝えたいことを話そうとする」スピーキング能力は特に身についたと思う。話す機会が増えたことで、自分の話し方の癖にも気づくことができ、改善すべきところにも気づけたのも、また一つの大きな収穫だった。同じクラスの学生たちからも多くの刺激を受けた。日本、中国などの東アジア国家だけでなく、インドネシアやオーストラリア、ドイツ、チェコなど様々な国から留学生が集まっていた。東アジアの国々では使う言葉に漢字という共通点があるため、語彙力が高い人が多く、また、母国語が韓国語と全く違う学生たちも人目を気にせず表現豊かに話していて、そのような環境下で多くの刺激をもらった。多様な文化的背景を持つ学生らとの縁ができたのも留学で得た財産だと思っている。

## ・合同セミナー

延世大学国際学部(UIC)の学生との交流では、英語での交流が主だった。グローバルなコミュニケーションの場では、やはり英語が必要不可欠であり、韓国語と共に英語も強化するのを感じた。

## ・Kahm先生による特別授業

韓国の近現代史を中心とした argument について、ご講義いただいた。特に、日本がどのように歴史認識してきたかは学校教育を通して理解していたが、韓国や韓国人が同じ歴史についてどのように認識しているのかは、これまで聞いたことがなかったため興味深かった。

## ○プログラム内容

午前中には、語学堂にて韓国語の4技能の授業を受けた。午後には、文化体験(K-pop ダンス、ハングル名前はんこ作り、韓国料理実習、韓服体験)や、留学前に選択したUICの講義、Kahm先生による特別授業を受講した。また、合同セミナーでは、留学前から自由テーマのグループ発表を準備し、それをもとに、UICの学生との意見交換や交流を行った。

## ○進路への影響

私がこれから就職する企業では、韓国語を直接使う機会は限られると思うが、世界のことに幅広く関心を持って、グローバルな視点を持つことがまちづくりの仕事にも十分活かせると考えている。韓国語や英語の学習を続けたい。

## ○延世大学国際学部の講義を聴講した感想

近代の歴史や哲学に関心があるため、Lee先生による「TOPICS IN POSTCOLONIAL STUDIES (theory and history)」を選択し、聴講した。講義内容としては、ポストコロニアリズム(W・E・B・デュボイスやフランツ・ファノンなどの黒人ナショナリズム、エドワード・サイードやホミ・K・バーバなどのオリエンタリズムを主導した人物の考え方や時代の流れ)について学んだ。聴講しながら、前提として世界史に関する基礎知識が必要だと感じた。また、留学前に思っていたよりも哲学的な内容を取り扱い、かつ英語による授業であるので、かなり難しかった。それでもポストコロニアリズムの内容は、未だ現代の諸問題にも深く関連しているので興味深かった。改めて自学したいと思う。また、授業を担当してくださったLee先生も親切に接して下さり、私たち

が滞りなく授業を受けられるよう、資料準備などにおいてもご配慮いただいた。UIC の学生も流暢な英語で積極的に質問を投げかけており、印象に残っている。

○韓国語で一言

학생생활의 마지막에 알찬 3 주간을 보내며 너무 좋은 경험을 할 수 있었습니다. 좋은 기회를 주셔서 감사합니다.